



平成 28 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社東光高岳  
代表者名 代表取締役社長 高津 浩明  
(コード：6617 東証第一部)  
問合せ先 経営企画部長 福田 聡之  
(TEL. 03-6371-5002)

「東光高岳グループ 2016 年度中期経営計画 (2016-2018)」の策定について

当社グループは、平成 29 年 3 月期から平成 31 年 3 月期の 3 ヶ年を対象期間とした経営計画「東光高岳グループ 2016 年度中期経営計画 (2016-2018)」を策定いたしましたので、概要を別紙のとおりお知らせいたします。

以上

(注) 本資料の将来計画の数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

東光高岳グループ

# 2016年度中期経営計画 (2016-2018)



株式会社 東光高岳  
TAKAOKA TOKO CO., LTD.

## ビジョン

電力ネットワークをトータルにサポートするNO.1企業になります  
計測・伝送・制御の新技术開発で新たな柱を確立します  
世界を舞台にお客さまを拡げ続けます

## 2016スローガン

電力システム改革をリードするために

↑ SHIFT

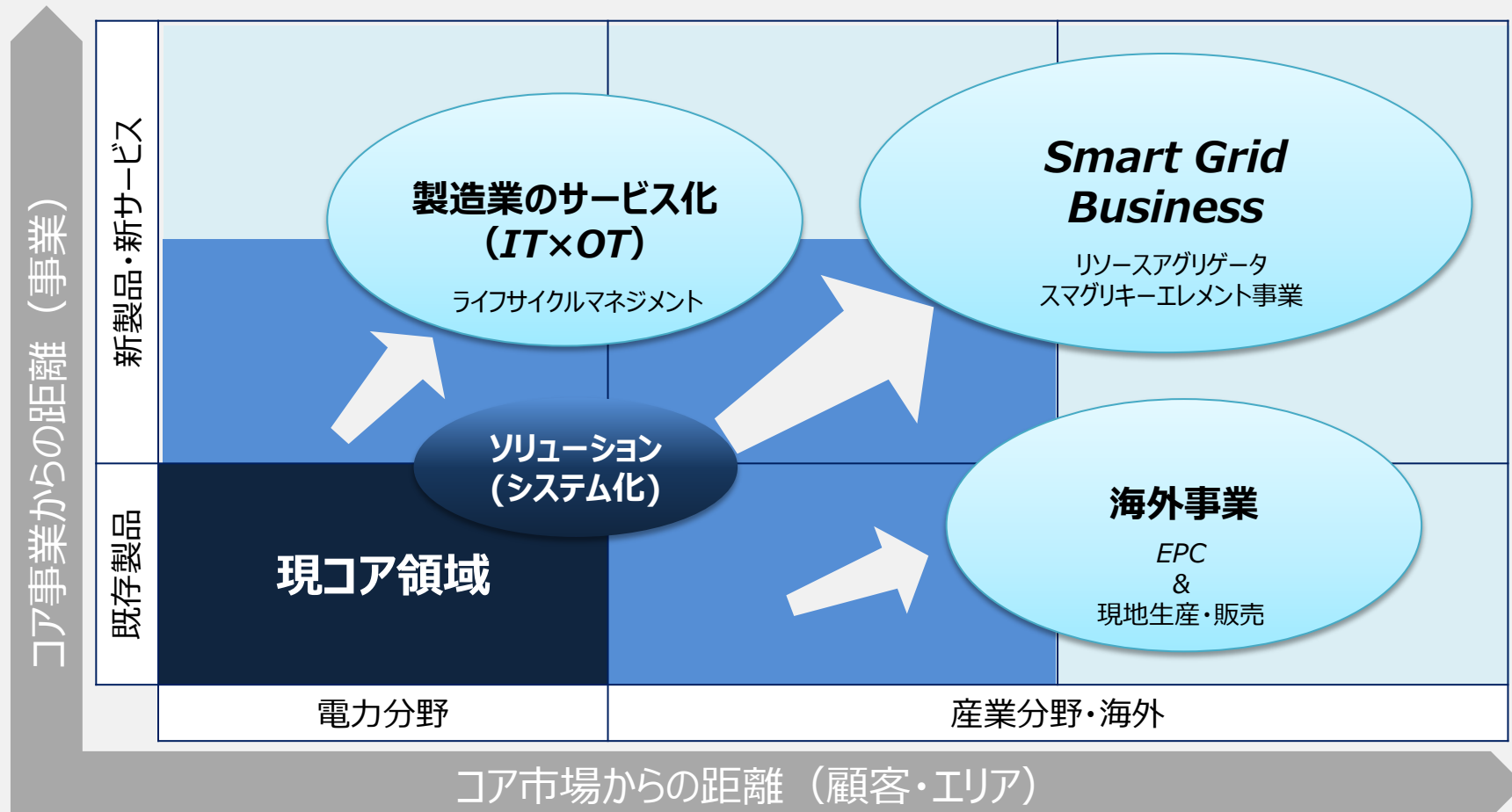
－ 発想のシフト、行動のシフト、ビジネスのシフト －

I. 成長ビジョン	1	VI. 重点施策	
II. 市場環境	2	生産ラインの増強・生産性向上	8
III. 事業概要	3	市場別製品ラインナップの整備・拡充	9
IV. 収支目標		ライフサイクルマネジメント	10
収支目標 - 2016 to 2018 -	4	海外事業	11
前年度計画との差異	5	EV関連事業	12
V. 基本方針		リソースアグリゲータ	13
全体方針	6	研究開発	14
セグメント別基本戦略	7	スマートファクトリー化	15

# 成長ビジョン

## 電力システム改革を契機に、事業領域の拡大とビジネスモデルの変革を目指す

- 産業分野への拡大本格化、海外事業の確立
- サービス事業の強化（メンテナンスからライフサイクルマネジメントへ）
- リソースアグリゲータを上流としたスマートグリッドビジネスの開発・推進



## 電力システム改革



- 電力システム改革の進展
  - － 電力会社の設備投資抑制や、競争発注比率拡大
  - － 新たな市場やビジネスモデルなど商機が拡大
- 分散型・需要家側エネルギーリソース（太陽光発電、蓄電池、電気自動車、エネファーム、ネガワットなど）の導入拡大に向けた動き
  - － 2017年までに『ネガワット取引市場』創設
  - － 経産省主導によるエネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネス検討会の設置
- 再生可能エネルギー市場は引き続き堅調（メガソーラーが減少していく一方、風力などの関連サービス市場は拡大の見通し）

-2015	2016	2017	2018	2019	2020
	小売全面自由化				
	1時間前市場創設				
		ネガワット取引市場創設			
			料金規制の撤廃		
			送配電部門の法的分離		
再生可能エネルギーの比率増加					

## 蓄電池



- 蓄電池市場の拡大（住宅用に加え、再生可能エネルギー拡大により系統安定化に寄与する大型蓄電池が徐々に増加）

## EV関連



- 国内外におけるEV（電気自動車）市場の拡大

## 省エネ



- エネルギー基本計画（2014年4月閣議決定）に基づくZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の実現に向けて、設計ガイドラインなどの制度設計が進む見通し

## 更新需要



- 高度経済成長期に建設された受変電設備の更新拡大

## 海外インフラ輸出



- 「質の高いインフラパートナーシップ」（2015年5月政府発表）により、今後5年間でアジア地域に約 1,100 億ドルの「質の高いインフラ投資」が提供される計画

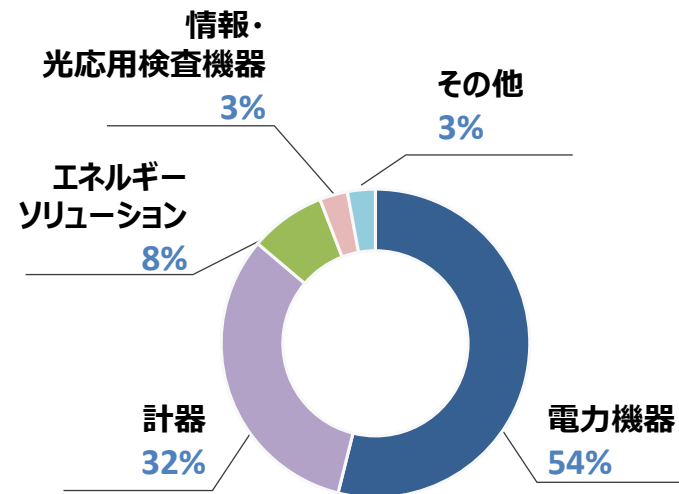
## 電力機器事業

【主な製品・サービス】

- 受変電・配電用機器
- 監視制御システム
- 制御機器 など



2015年度売上高 1,152億円



## 計器事業

【主な製品・サービス】

- 各種計器の製造販売
- 計器失効替工事の請負 など



## エネルギーソリューション事業

【主な製品・サービス】

- エネルギー計測・制御機器
- 電気自動車用急速充電器
- 産業機械用駆動装置 など



## 情報・光応用検査機器

【主な製品・サービス】

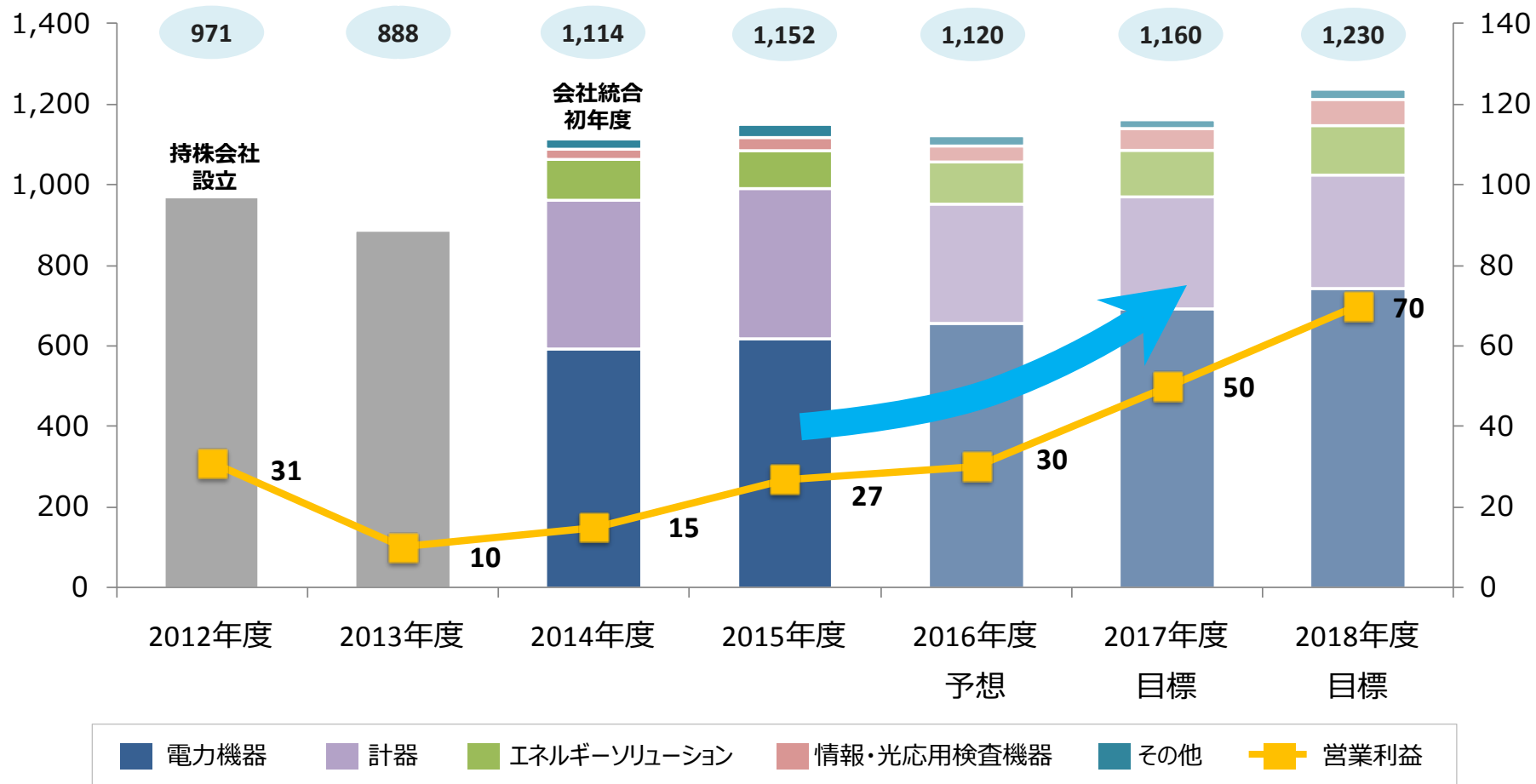
- 三次元検査装置
- シンククライアントシステム
- 組込みソフトウェア など



## 収支目標 - 2016 to 2018 -

売上高 (億円)

営業利益 (億円)



(注) 2012年度実績は、連結業績に旧東光電気株式会社の上期連結業績を合計した値

## 前年度計画との差異

**売上高**：前年度計画と比較し、計器事業における競争環境の悪化から売上高目標を見直し

**利益**：利益については、生産設備改修による生産性向上などにより、前回計画水準を維持

	2016中期経営計画		
	2016予想	2017目標	2018目標
売上高	1,120億円	1,160億円	1,230億円
営業利益	30億円	50億円	70億円
経常利益	31億円	51億円	71億円
設備投資額	48億円	年平均40億円程度	
研究開発費	34億円	年平均35億円程度	
原価低減額 [単体]	25億円	年平均25億円程度	

	2015中期経営計画	
	2016目標	2017目標
売上高	1,230億円	1,250億円
営業利益	35億円	50億円
経常利益	36億円	51億円
設備投資額	40億円	40億円
研究開発費	30億円	30億円
原価低減額 [単体]	25億円	25億円

# 全体方針

電力システム改革をリードするために

## ↑ SHIFT

– 発想のシフト、行動のシフト、ビジネスのシフト –

### 既存事業の収益性向上（バリューアップ）

電力会社向け事業は当社のコア、継続的なシェア拡大を目指す

- 業界のプライス・リーダーを目指し生産性向上を一層加速
- 製品・サービス開発のスピードアップに向けて、戦略的アライアンスを実施

### 新たな収益基盤の構築（ブレイクスルー）

持続的成長に向けてブレイクスルーを追求する企業へと変革

- 新市場への本格進出 - 産業分野へ大胆シフト -
- サービス事業の拡大 - お客さま視点 -
- リソースアグリゲータ事業、海外事業など成長市場への積極的なアプローチ - アイディア創出企業へ -

### 経営基盤の強化（ベース）

バリューアップ、ブレイクスルーの実現に向けて、上記活動と連携した継続的経営基盤の強化

- 業務効率化とスピード経営を実現する統合業務システム導入、生産性向上に向けたラインの再構築
- 事業の拡大に向け、更なるコンプライアンスの徹底、安全・環境・組織体制と人財育成の強化



# セグメント別基本戦略

## 電力機器事業

- 受注拡大に向けた生産ラインの増強、価格競争力強化に向けた生産性向上
- お客さまニーズに沿った製品・サービスラインナップの整備
- サービス化の取組みの一つとして、ライフサイクルマネジメント事業の構築
- 海外エンジニアリング事業拡大

## 計器事業

- スマートメータ事業拠点の蓮田地区集約を推進
- お客さまと一体となったバリューチェーン（計画→製造→配送→工事→管理）構築による、業務の全体最適化
- 電力に加え、ガス・水道などへのスマートメータ事業領域拡大

## エネルギーソリューション事業

- 急速充電器シェアNo.1を軸とした、EV関連市場における事業拡大
- リソースアグリゲータ市場創設を見据えた製品・サービス開発と早期市場参入

## 情報・光応用検査機器事業

- ワークスタイル変革に向けた認証技術の高度化、対応製品の開発
- 独自の三次元計測技術をベースに医療分野などの新領域に展開

## 経営基盤の強化

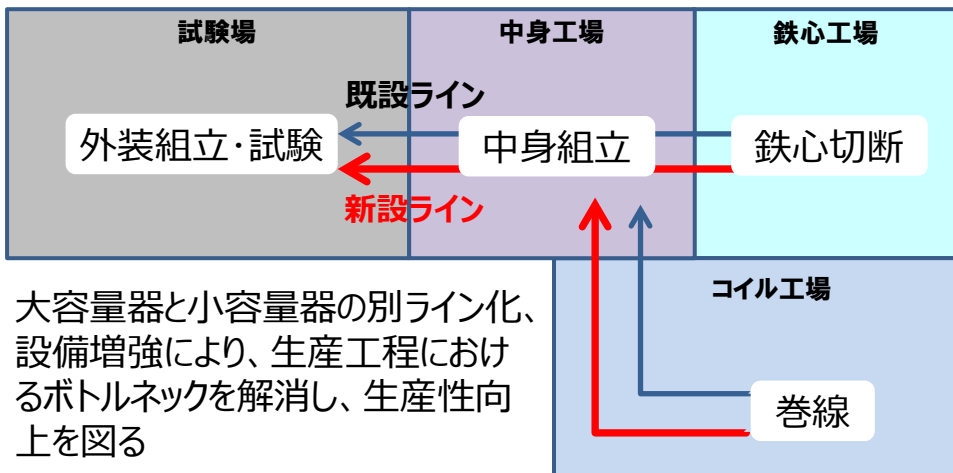
- 統合業務システム稼働を機に、スマートファクトリー化を加速

## 受注拡大のため、多容量・多品種生産とコスト低減に向けたラインの見直し・設備増強

### 生産ライン二重化・設備増強

#### ■ 大型変圧器生産ラインの二重化

生産性向上（2018年度）：2015年度比約20%増



#### ■ 生産設備増強

鉄心切断機増設  
速度2～3倍の新型設備増設



鉄心切断機

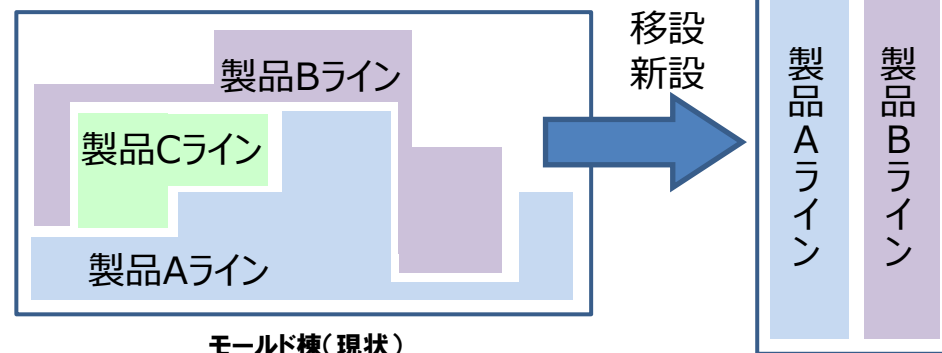
### 生産ラインの再構築

#### ■ モールド生産ラインの再構築

2015～2017年度（完成予定）の3年計画

生産性向上（2018年度）：2014年度比60%増

- 【現状】
- 設備の老齢化
  - 継ぎ接ぎレイアウト
- 【施策】
- 設備更新
  - 動線短縮
  - 整流化



モールド棟(現状)

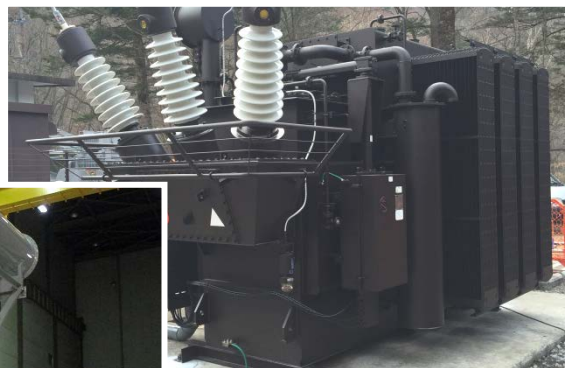
別棟

## 市場変化を捉えたお客さまに選ばれる製品開発

## 電力送配電ネットワーク関連

## ■ 価格競争力のある製品投入

- 窒素密封形変圧器の拡販
- 新型GCB（ガス遮断器）の開発
- 新型保護制御装置の開発
- 電力会社ごとの仕様に合わせた配電製品開発



環境配慮型窒素密封形変圧器

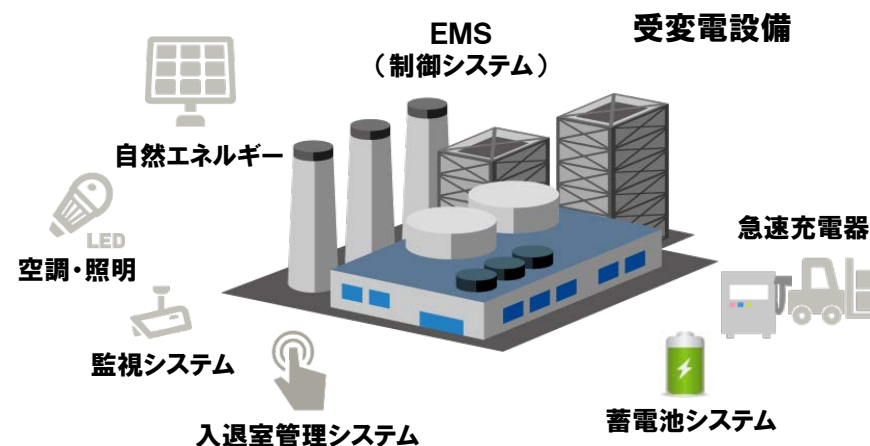


海外向け大型変圧器

## 産業分野関連



## ■ トータルサポートに向けた戦略製品・サービスの開発

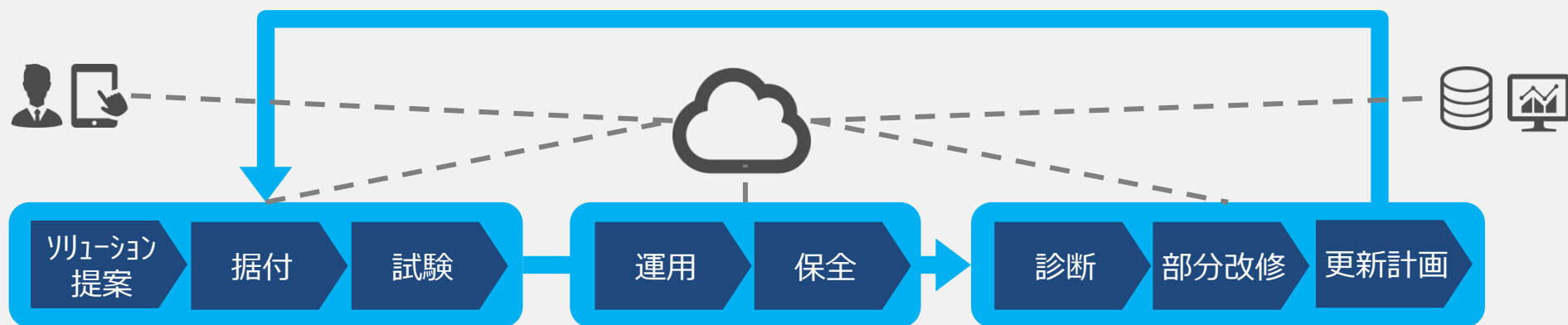


# ライフサイクルマネジメント



## お客さま設備のライフサイクル全体をサポート

- お客さまの効率的設備運用につながる保守・メンテナンスサービスの拡充



### 新設 + 保守パッケージ

- 受変電設備
- 蓄電システム (BCP)
- EMSシステム etc.
- 保守・パッケージ

### 保守・メンテナンス

- 定期点検
- 保守部品交換
- 交換時期のお知らせ
- オンラインモニタリング etc.

### 余寿命診断、改善・更新

- 余寿命診断
- Repair & Retrofit (部分改修・延命化)
- 更新計画作成 etc.



## Network Engineeringカンパニーとして、グローバル事業を推進

- **アジア、アフリカ地域：** 電力会社向けに、電力流通システム開発を支援
- **大洋州、島嶼国：** 国内での実績をベースにSmart Grid事業を展開

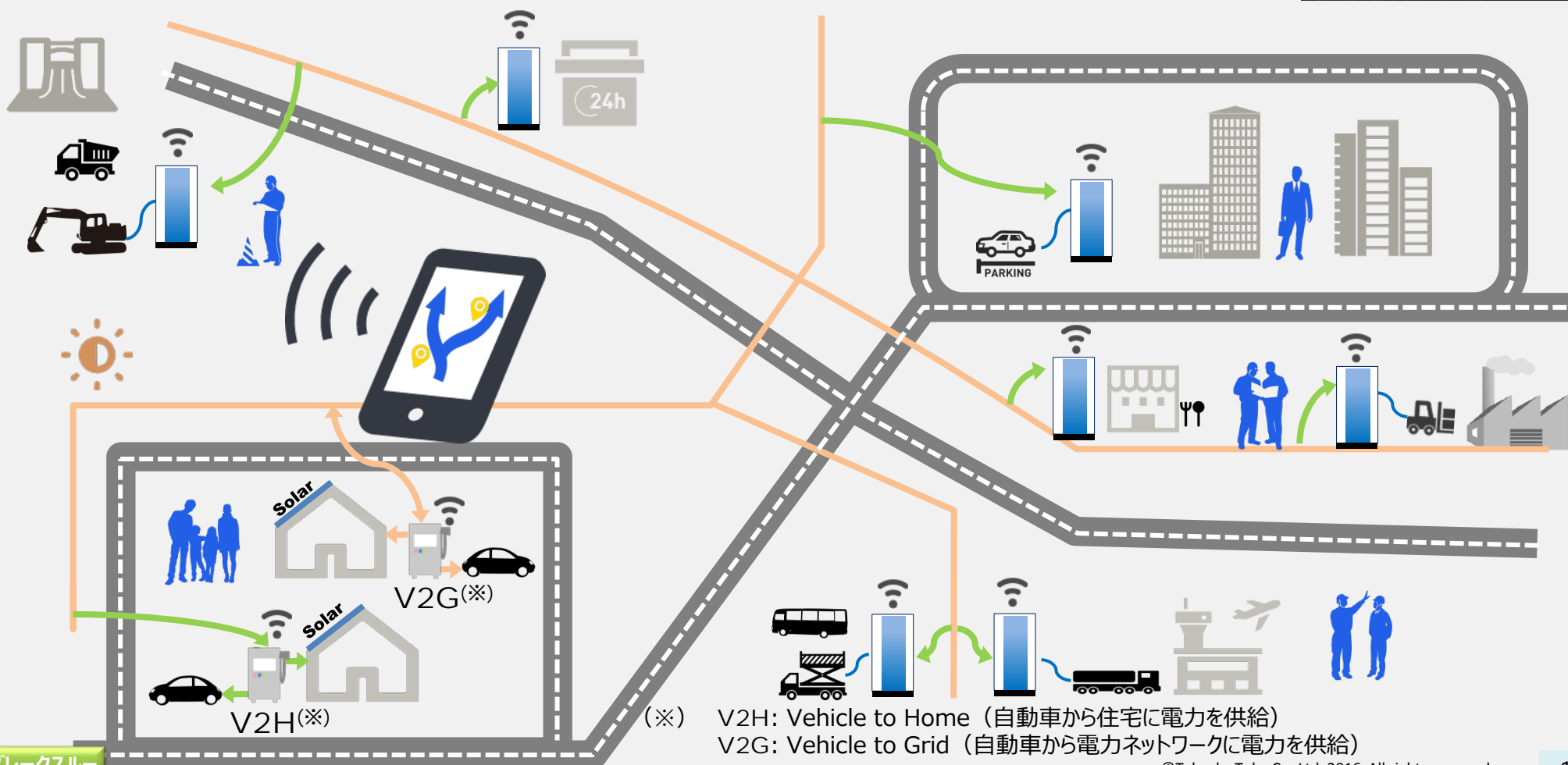






## 低炭素社会の実現に向けて電気自動車（EV）の普及をサポート

- 急速充電器国内シェアNo.1の実績を活かし、充電ネットワークの拡充をリード
- V2H、V2G、情報活用サービスなどの関連製品・サービスの開発を目指す

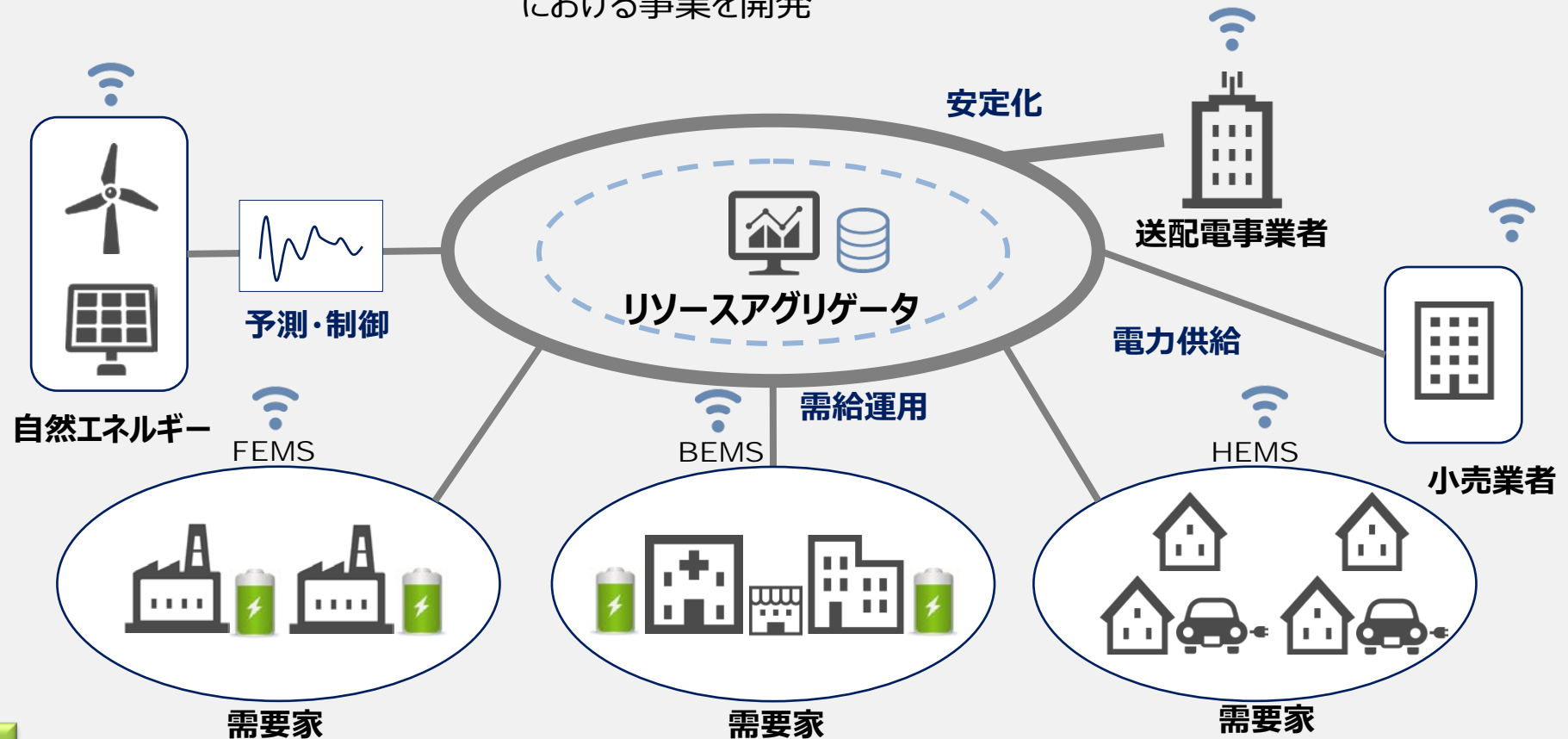


# リソースアグリゲータ



「自然エネルギーの普及拡大」&「電力ネットワークの安定」というトレードオフを同時に実現

- 東京都新島におけるNEDO「電力系統出力変動対応技術研究開発事業」（2014.6～2019.3）の実績、電力ネットワーク分野のリーディングカンパニーとしての強みを活かし、エネルギーリソースアグリゲーション市場における事業を開発



# 研究開発

## 電力ネットワーク分野のリーディングカンパニーとして研究開発を推進



- リソースアグリゲーション市場における事業開発
- バランシングサービス（電力需給調整）、デマンドレスポンス（ネガワット取引）関連技術
- 離島や地域コミュニティにおける電力システムの最適運用

- 自然エネルギー(分散型電源)増加による系統の安定化技術
- 電力、ガス、水道などのインフラ全体のスマート化（高圧一括受電サービス、共同検針サービス）
- 需要家向けサービス開発（充電インフラ、蓄電システムなど）
- ビッグデータを活用した業務支援（スマートファクトリー）

- センシングとICT技術を活用したインフラ監視、メンテナンス支援（計測・伝送・制御技術）
- 省エネを志向したパワー半導体の製品適用開発
- 新材料、高性能材料の活用、高分子絶縁材料の高機能化と用途開発
- 競争力強化に向けた基盤技術の再構築（絶縁、高電圧・大電流試験技術など）

基盤技術

計測

伝送

制御

高電圧  
大電流

絶縁



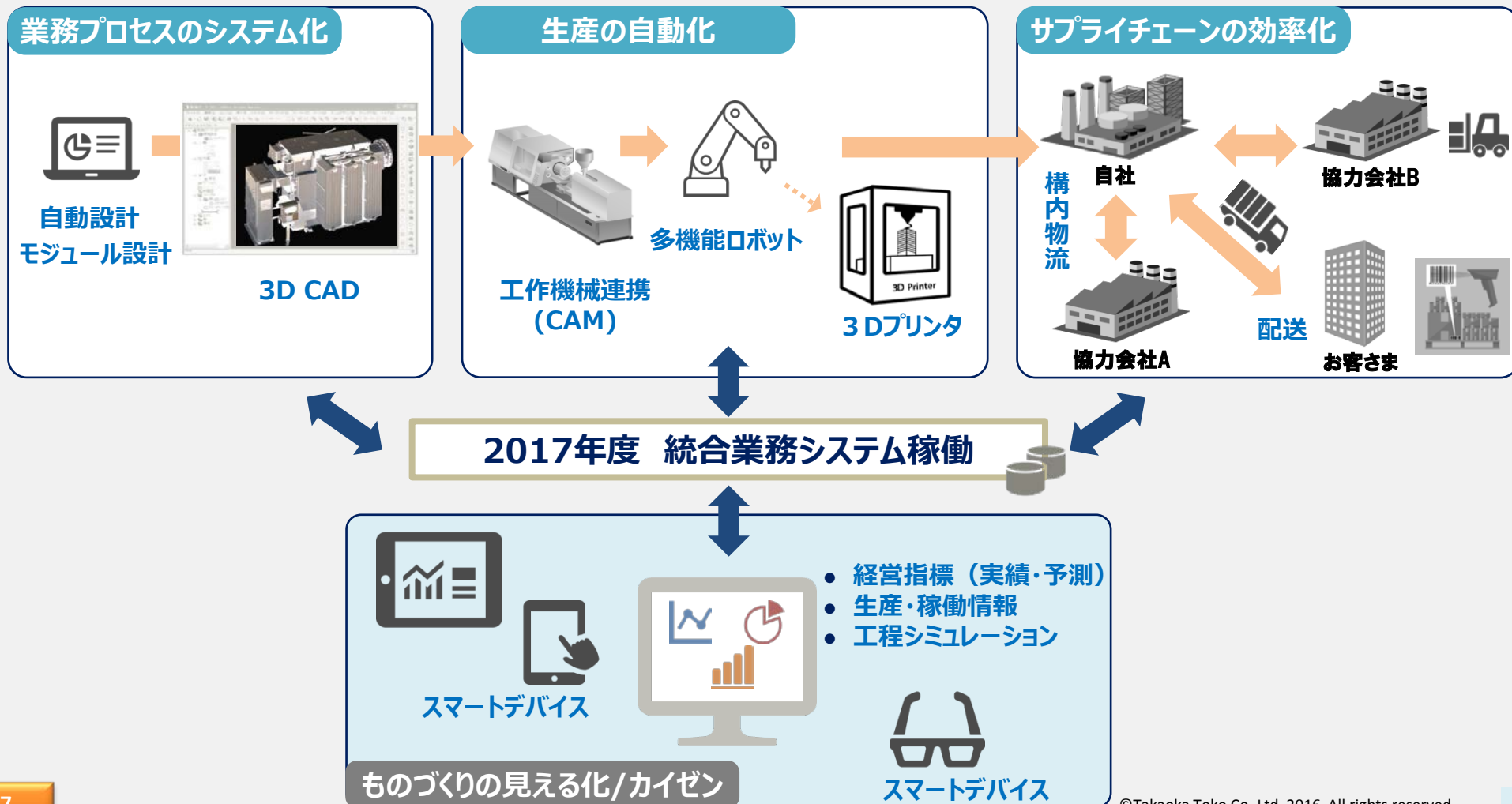


# スマートファクトリー化

## 最新技術を取り入れた「スマートファクトリー化」を加速

- 2017年度の統合業務システム稼働を機に、最新技術を取り入れたスマートファクトリー化を加速
- 徹底した効率化と利便性を追求したインフラ構築

※統合業務システム：経営資源を一元管理するシステム





株式会社 東光高岳  
TAKAOKA TOKO CO., LTD.

将来予想に関する注意事項

本資料の将来計画の数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。